

## 令和2年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会（第2回）【概要】

日時：令和2年11月12日（木）午前10時から正午まで

場所：千葉市文化センター 5階セミナー室

### 1 出席委員（敬称略・名簿順）

忍田 直之、川名 聡彦、平賀 洋一、深山 和利、横山 昌彦、安江 博昭、長島 貴浩、  
佐久間 勝彦、小熊 隆、藤ヶ崎 功、磯野 和美、櫻井 澄香、岡部 成行

### 2 次第

(1) 開会のことば

(2) 県教育委員会あいさつ

(3) 委員紹介

(4) 報告

①令和2年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会（第1回）の概要について

→（意見なし）

②令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜の検査の内容等について

・7ページの学校設定検査の内容を見ると、面接、集団討論の学校がある。昨今のコロナの影響で、特に私学等では、急遽、面接を取りやめる学校等も出てきている。面接や集団討論等の検査で十分配慮をしてもらえるのか、確認したい。

→各高等学校において、感染症対策を講じていただいた上で実施する予定である。今後の状況によっては、変更等の連絡をすることがあるかもしれないが、現段階では予定どおりの実施を考えている。

③その他

→特になし

(5) 協議

①令和4年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）について

令和4年度千葉県公立高等学校入学者選抜の日程について、案の趣旨等を説明。

・令和4年度選抜について、例年3月下旬に行われる追加募集の予定について示されていないが、よろしいか。

→追加募集については、この日程が決定した後に、設定させていただく。

②令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜以降の課題について

→今年度から入試の一本化に加えて、県が定める評定合計の標準値の廃止など、大きな変更がある。中学校、高等学校に現時点でどのような影響があるか、生徒、保護者あるいは学校の先生方からの声があれば、御意見をいただきたい。

→（意見なし）

③その他

新型コロナウイルス感染症に係る特例追検査について、対象者、実施日、実施内容、実施場所、選抜方法、結果発表、日程等を説明し、意見を求める。

- ・口頭で説明があったが、文書で示されないと理解がしにくい。少なくとも特例追検査を受検できる者、受検できない者を明確にする必要がある。前回は発言したが、13ページの新型コロナウイルス感染症の影響で本検査を受検できない者とは、どういう者なのか。本人がPCR検査で陽性の場合には受検できないというのはよくわかるが、保健所が濃厚接触者かどうかを確認している期間、家族に陽性の者あるいは濃厚接触者がいる場合、在籍中学校が新型コロナウイルスにより臨時休校になっている場合などについて、明確にしなければ、意見を求められても、意味がないのではないかと。

→受検の可否の基準については、大学共通テストの対応も踏まえて検討することになる。現在のところ、受検できない者は、新型コロナウイルス感染症の罹患者、濃厚接触者等である。ただし、濃厚接触者のうち、PCR検査等の結果が、陰性、かつ、無症状の者は別室受検も可とのことなので、国の基準と同様の対応を考えている。中学校が学級・学年・学校閉鎖等の状況であっても本人が濃厚接触者でない場合は、受検できることになる。

- ・大学共通テストの基準が出ないと明らかにできないということか。今、具体的な話が出たが、文面で示したうえで、意見を聴いてほしい。基本的に検査会場でクラスターが発生しないようにする。検査会場に感染者がいることによって、感染が拡大したということがないようにするため、受検を認めないことも必要である。さらに、受検できなかった者には、別途受検機会を設け、受検機会を保障することで、受検生を安心させることが大切である。中学校側に了解されればよいと思う。大学共通テストの対応と違ってよいのではないかと。明確な基準を示してもらい、この場で意見を聞く必要があるのではないかと。
- ・中学校としても、この部分について聞きたいところである。懸念されるのが、生徒や保護者が検査を受けていいのか受けてはいけないのか、また、どういう場合が該当するのかわからず混乱することである。わかりやすく示してほしい。それが理にかなったものであるかが一番のポイントとなる。わかりやすく混乱のない受検となるよう、公正公平な選抜となる仕組みを考え、検討を進めてほしい。
- ・書面で示すべき段階で示すということは、現場の声を反映する意味で大変重要なことになる。書面会議でも構わないので、意見を求める機会を設けることが、現場の意見の反映になる。学級閉鎖・学年閉鎖の話があったが、今後、対応が変わる可能性もある。第3波が今後予想される中で、非常に厳しい状況での対応を迫られるが、基本方針については確認する必要がある。

→非常に貴重な御意見として、今後対応させていただきたい。

- ・様々な指摘があったが、実際に検査を運営する現場としては、一本化の初年度であることと、コロナの問題の両面と対峙しなければならない。相当な緊張感をもって、取り組まなければならないと思っている。これまでの制度とは異なる入試となるので、現場の運営をする上で不安のないような制度、システムをぜひ構築していただきたい。そして、その部分をわかりやすく明確な形で示してほしい。全職員に周知することは、現場を預かる身としても難しい。我々が安心して検査を運営できることが、受検する側にとっても大切なことなので、御配慮をお願いしたい。追検査が定数の外ということについても、できるだけ早い段階で指示してもらえると大変ありがたい。
- ・特例検査の実際の内容について可能な範囲で教えてほしい。学校設定検査は特例追検査では行わ

ないという理解でよいか。募集定員の外枠の上限は設定されるのか。それから、県が指定した会場で実施される場合の答案等の各学校への配付等、現段階で、わかっていることがあったら教えてほしい。

- ・中学校の立場で何点か話したい。コロナ関連で対応いただいていることに、感謝申し上げたい。一方で、指摘のあった課題については、同感である。明確にすべきところを明確にすることは、受検への公平性等につながる。募集定員の外枠ということについて、受検をする保護者・生徒の立場からすると、不安である。第2次募集の結果も出ていて、定員についても例年であれば落ち着いた状態からの、外枠というのはいったいどういうことなのか。合否の公平性について、説明を求められるような場面も想定される。定員を超えているので、高校側も不安だと思う。外枠ということについて、内容をもう少しわかりやすく伝える必要があると感じる。検討をお願いしたい。

→委員の皆様からいただきました、御質問・御意見について、現段階で具体的なお答えできることはないが、御指摘のあった点を明確にお示しできるように今後検討する。

- ・子供が中学3年で受検を迎えるが、現段階でまだ決まっていないということは不安である。ガイドラインを示しいただき、質問された先生が受け答えに困らないようにしてほしい。
- ・受検生はもちろん、家族全員が健康に気を使うようになった。受検生は、この受検のために頑張ってきているので、風邪の症状があっても無理しがちになる。無理してでも受検したいという受検生が出ないよう、体調を優先することを生徒にも浸透させることができたらよい。
- ・先ほど大学の入学試験の話が出た。ガイドライン等はあるが、すべて高校入試に当てはまるとは限らないので、万全な新型コロナ対策を講じていただきたい。
- ・受検生、保護者が理解できるような公表をしていただきたい。受検に対して、コロナの対策は初めてなので、検査室当たりの人数などの対応も含めて公表してもらえれば、受検生や保護者も安心して受検ができると思う。
- ・学校現場としては、今、コロナについては疑わしいものについては柔軟な対応をとっている。出席についても、高熱で欠席した場合も特例的に出席停止の扱いにしている。風邪や花粉症との区別が非常につきづらい。非常に難しい判断だが、委員の意見を参考に、受検生の安全を考えながら原案を作してほしい。
- ・検査運営上の話があったが、本校では、サーマルカメラないし非接触型の体温計での検温を行い、だるさ、味覚、嗅覚等を健康チェック票で確認し、健康状態に問題のない者だけが教室に入れるようにしている。それと同じことを受検生に対しても行わなければいけない。検査会場に入った受検生は、みな熱症状もない、コロナの症状もない、それで安心して受検ができる体制をとらなければいけない。これは本検査でも追検査でも特例検査でもすべて同じである。面接にしても密にならないようにしなければいけない。それで問題が無いということ、高校側の責任としてやるべきである。どんなに想定しても想定できないことが起こるかもしれない。その辺の慎重さが必要である。

→いろいろな意見を頂戴し、ありがとうございます。この後、受検の可否についての場合分け、あるいは検査当日の入口から検査室に入るまでの動線等、詳細について決めていく。特に御意見をいただいた、対象者等については、早急にフローチャート図等を作成し、委員の皆様方に書面に

てお送りし、その上で意見をいただき、最終的に決定していく。日程は教育委員会会議を通すが、この件については実施上の問題なので、早急に決めて生徒にも保護者にも公表していきたい。準備が整い次第、書面を郵送し、意見をお伺いするということがいかにか。

→よい。

- ・ 13ページの対象者の3行目、新型コロナウイルス感染症の影響で本検査を受検できなかった者と追検査を受検できなかった者、との説明があったが、この表記では本検査としか書いていないので確認したい。

→こちらにも追検査の部分を入れるべきと考えるが、本検査を受検できずに追検査を受検できる場合もあるので、このような表記になっている。本検査も追検査も受検できなかったケースも考えられるので、わかりやすくお示しできるようにしたい。

- ・ 入試が、安全安心、公平公正な、という観点で最終的に示していただくということが大きな意見であったかと思う。以上で協議を終了する。

(7) 閉会のことば